

甲府市廃棄物減量等推進審議会 令和4年度第1回審議会議事録

令和4年8月29日（月）午前10時～

甲府市中道公民館 大会議室

出席委員

委員13名中7名出席 6名欠席

事務局 環境部長、環境総室長、環境対策室長、環境保全課長、環境政策課長、
ごみ減量課長、総務課長補佐、環境政課長補佐、ごみ減量係長、
ごみ減量係主事

傍聴者 なし

委嘱状交付式

- 1 開 式
- 2 委嘱状交付
- 3 市長あいさつ
- 4 閉 式

第1回審議会

- 1 開 会
- 2 職員紹介
- 3 会長及び副会長の選任
- 4 会長あいさつ
- 5 議 事
 - ① 家庭ごみ減量に向けた効果的な取組について
 - ② 目標値について
 - ③ その他
- 6 閉 会

【事務局】

—家庭ごみ減量に向けた効果的な取組についての説明—

【委員】

コンポスターを使った生ごみの堆肥化とありますが、コンポストのことですか？

【事務局】

容器式のコンポストのことです。

【委員】

店舗回収の件ですが、甲府市で把握しているのは何店舗分の量なのか教えていただきたい。

【事務局】

3者の合計で15店舗の回収量を回答いただいております。

【会長】

それでは次に、議題の2「目標値について」審議を行いたいと思います。
まずは事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

—目標値についての説明—

【会長】

前回の答申では、答申を出した年を含めて5年間の答申を出しています。答申を出すのが、令和5年6月ということになるので、令和5年は準備期間と考えて、具体的に動き出すのは、令和6年度からということで、令和10年度を目標年度に提案することは、いかがでしょうか。

【委員】

異議なし

【会長】

ではこのような形で、答申を作成していきたいと思います。

【会長】

次に議題3「その他」について、一つ私から皆様にお伺いしたいことがあります。

実は、前回の答申の最後に、答申の目標値である家庭系可燃ごみの 1 人 1 日当たりの排出量、450 グラムが達成できない場合、ごみ袋の有料化の検討を行う文言がありました。

そうしますと、結局その答申の期間が終わった時点で、目標達成できなかったのも、この文言通りでいきますと有料化の検討をする必要があると考えているのですが、これについて、具体的に有料化を検討すべきなのか、今回は具体的には検討しないで、また見送るのかどちらがいいのかご意見いただければと思います。

【委員】

普段使っている燃えるごみの袋が 10 枚 150 円で、県内の様子も甲府市が高いとか安いということも全然わからないのでデータがあれば、考えやすいのではないのでしょうか。

【事務局】

ごみ袋を買っていただいているので、お金を払っているから有料化ではないかと思う方もいると思いますが、指定ごみ袋と、有料ごみ袋がありまして、甲府市は指定ごみ袋ということで、ごみ袋を製造するときに掛かる経費をもとに、値段を設定しています。

有料化は、ごみ処理の収集などにかかる経費をごみ袋に上乗せする仕組みになっています。

【会長】

有料化をするということになると、まずは市民の皆様にご理解することについてご理解をいただいた上でないと、なかなか実行が出来ない部分があります。市民に広報等で目標値、有料化等を周知し、目標が達成出来ないという状況に市民が理解した時点で具体的に検討するのが現実的な気がしております。

【委員】

ごみは無料を出しているということで、甲府市民の認識とずれがあるのかなと感じます。その中で、例えばごみが増え、処理にお金がかかるので、市民に処理料を負担いただく、ごみが減ったらその分、インセンティブでお返しするなど、「努力すればそれだけ市民、自治会に還元する」と言うのは簡単だが、なかなかできないと思います。

そういうことを踏まえるとなかなか有料化は難しいと思うので、会長のおっしゃるように、今回の答申については、目標設定をしながら、市民への努力目標ということで、よろしいのではないのでしょうか。

【会長】

いずれ有料化の話は、検討しなければいけない時期が出てくるかと思います。ごみの目標値や排出量、ごみ袋の中に含まれているものなどを示して、例えば自治会などを通して、もうちょっと減らしましょうみたいなことをやってもらうとか、そういう取組が必要かと思いますので、もし入れていただけるようなら、答申の中に入れていただければと思います。

【会長】

では、有料化の取扱いについては、今回の答申の中では具体的な話はしないということで、今後、ごみの目標に対して、目標に追いつかなかった場合には、有料化を検討することも必要だというような文言を入れさせていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。